

昭和37年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して
東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 あて申し込むこと。

第2部 選定題目講演会

次の日程に従って行われます。詳細は各受持委員にご照会下さい。

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員	主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
山の気象	6月	4/30日	高層課：大井	(38年)	太陽活動と放射	1月	長期予報：朝倉
乱流	6月	4/30日	測器課：清水		気象電気	1月	研究所：今井
高層気象	7月		高層課：大井		気候	1月	長期予報：朝倉
低気圧	7月		予報課：石原		長期予報	2月	長期予報：朝倉
気象学史と気象教育	8月		研究所：松本		レーダー気象	2月	研究所：今井
生気候	9月		研究所：神山		観測と測器	2月	測器課：清水
大気汚染	9月		研究所：神山		メソ気象	3月	研究所：松本
気象災害	10月		研究所：渡辺		対流雲	3月	研究所：松本
風のシンポジウム	11月		測器課：清水		航空気象	3月	研究所：今井
台風	11月		予報課：石原				研究所：渡辺
			研究所：松本				東京航空：上松
			研究所：渡辺				
気象統計	11月		長期予報：朝倉				

3月の例会

前線について

(予報部予報談話会、メソ気象懇談会と共催)

会期：昭和37年3月23日(金)13時30分より

会場：気象研究所東京教室

(1) 研究発表

1. 柳沢善次(気研台風)：ミリ波レーダーによる前線の解析例(15分)
2. 杉浦 茂(気象庁予報)：F. K. Ballの前線の型の実例について(25分)
3. 千秋鋭夫(気研予報)：スコール・ラインを伴った前線の三次元解析(30分)
4. 石原健二・野口敏正・土屋清(気象庁予報)：昭36・6豪雨の雨量予想(20分)
5. 気象研究所予報研究部：昭36・6豪雨の解析—子午線断面解析を中心として(30分)
6. 渡辺和夫(気研台風)：レーダーの複合写真に見られる昭36.6豪雨(15分)

(2) メソ気象についての懇談(60分)

第11回航空気象シンポジウム

会期：3月28日(水)午後1時より

会場：東京国際空港オペレーション・センター会議室

主題：Significant Weather について

研究発表

1. 山田直勝, 山口乙彦(東京航気)：気温の遞減率

と有効最低飛行高度について(15分)

2. 尾崎風伍(日本航空)：ドップラレーダーによる上層風観測の解析
3. 橋本梅治, 鈴木義男, 竹内允志(東京航気)：視程と大気汚染の日変化について(第2報)
4. 喜多豊一(東京航気)：羽田の気温について
5. 竹内義人, 北沢邦男(東京航気)：下層雲頂の高さについて(15分)
6. 光野 一(東京航気)：本邦のタービュレンスの調査
7. 井原仙三(東京航気)：アルチメーターについて(15分)
8. 杉本 豊(東京航気)：シビアータービュレンスの調査
9. 山中義昭(日本航空)：航空機の運航に及ぼす気象要素について(その一)
10. 山本芳政, 北沢邦男(東京航気)：アルチメーター地域偏差について(15分)
11. 橋本梅治, 鈴木義男, 竹内允志(東京航気)：視程と透過率について
12. 光野 一(東京航気)：水平シア計算盤について

注 なお講演追加申込のある方は下記宛に願います

東京都 大田区 国際空港 東京航空地方気象台

上 松 清